学内施設を利用する部活動・サークル活動の基本ガイドライン

行動指針レベル	レベル3	レベル2	レベル1 (令和3年11月1日改定)
対象	全ての学生団体の活動を原則禁止する。	下記の全ての条件を満たす活動について再開の申請を受け付ける。 1) 所属する連盟や協会等が開催する大会・コンテスト等への参加を目的とすること。 2) 練習環境や指導者の確保等で、学内施設を使用した安全かつ効果的な取り組みであること。 3) 学内施設の利用は、北翔大学・北翔大学短期大学部および北翔大学大学院に所属する学生と顧問・指導者(含む学外指導者)に限る。 4) 活動計画書(下欄の提出書類1))に記載された者以外の来校については認めない。 5) 申請を行うのは、学内の顧問および指導者のみとする。	下記の全ての条件を満たす活動について再開の申請を受け付ける。 1) 練習環境や指導者の確保等で、学内施設を使用した安全かつ効果的な取り組みであること。 2) 学内施設の利用は、事前の施設利用申請(願い)・名簿を提出し許可された団体とする。 ・学外者(観戦者含む)の名簿には、所属先、氏名、連絡先を記載すること。 3) 申請(願い)を行うのは、学内の顧問および学内指導者のみとする。 ※ 大会・コンテスト以外を目的とした活動も可能とする。
提出書類		1) 活動計画書(集団活動の必要性、活動日時、場所、対象学生、人数、活動内容、感染予防対策の方針が示されたもの。メインの活動だけでなく、更衣室やトイレ、登下校時の感染予防策についても記載すること) 2) 大会・コンテストの開催要項(開催が決定し、日程や場所が記載されているもの) 3) 所属する連盟・協会等による感染予防対策のガイドライン、またはそれに類するもの	施設利用申請書(願い)、名簿を施設利用届の窓口へ提出すること。
申請フォーム @wm.hokushoテナント		https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=28bL6Ho0Y0-3KBJivA1a4GomXqg_o29Bn_KJFEA0C69UOEhDNE1BMUNCWVcwS01KTINMUU5KRVpQQCQIQCN0PWcu	なし
審議プロセス		1) 必要書類が全て整った後、学生生活支援委員会にて審議し、承認を得る。 2) 委員会の承認を得られた後、新型コロナウイルス対策本部会議において報告する。	なし
利用する学内施設		個別の事案に対して、学生生活支援委員会および新型コロナウイルス対策本部会議にて確認・審議する。また、必要があれば、関係部署と情報共有・交換を行い、施設利用の可否について確認・審議する。	
活動時間	特例の事案については対策本部会議にて検討いただく	学内や登下校時の3密を避けた感染予防の観点から、 【指定スポーツ団体の場合】個別学生の学内における活動時間は、1週間に4日以内かつ1日4時間以下とする。 ※実質の活動時間を3時間とし、前後30分ずつを準備片付け、換気、消毒に充てること。 ※練習時間内に一回以上の換気の時間を設けること 【指定スポーツ団体以外の団体の場合】個別学生の学内における活動時間は、1週間に3日以内かつ1日2時間以下とする。	活動日数・時間については、制限を設けず、顧問や指導者の責任下で決定する。ただし、活動計画書に記載された感染予防策の履行状況を第三者に評価していただく。評価者は各団体が選定できる。
学生管理の義務		顧問または指導者は活動時間内において参加学生の管理を行わなければならない (緊急事態に速やかに対応できるよう、顧問や指導者またはその代理人(本学教職員に限る)は、原則、活動時間中に学内に滞在すること。) 活動計画に変更が生じた場合(大会やコンテストの延期、中止など)は、速やかに学生生活支援オフィスに連絡しなければならない。	
注意事項	大学の方針に速やかに従い、学生とその家族の命を守る行動をお願いします。	1) 命に勝る価値はありません。いつ何時も、学生や指導者の健康と安全を最優先してください。 2) 学生の参加を強制しないでください。 3) 練習に参加しない(できない)学生に不利益がないようにしてください。 4) 活動再開に際しては、学生およびその父母等へ丁寧な説明を行い、必ず同意を得てください。 5) 大学の方針に従い、活動休止・停止の要望には速やかに従ってください。 6) カリキュラムと大学行事を優先してください。 7) 複数の団体が同時に同一施設利用を希望した場合は、当該団体で協議し、決定してください。 8) 所属する連盟や協会等のガイドラインおよび、学生団体が作成したガイドラインを遵守してください。 9) 申請と異なる活動および、上記8)のガイドラインに違反する取り組みが発覚した場合は、活動停止させ、施設利用を禁止致します。 10) 可能な限り、リモート活動を模索し、行ってください(新しい考え方への発想の転換をお願いします)。 ・ミーティングはオンラインでお願いします。 ・日常的な個人でできる練習はオンラインやリモートでお願いします。 ・オンライン指導の際にはビデオをオフにするなど、学生の通信費の節約とネットワークの安定化に協力してください。 ・学生が自粛警察からの攻撃を受ける可能性があります。SNS等への投稿は極力控えてください。 11) 顧問や指導者は、学生にプレーキをかける立場であることを決して忘れないでください。 12) 「大切な学生を守るため、大会やコンテストには参加しない」という選択肢もご検討ください。	